

リーディングプロジェクトの進捗状況について

1. 基本目標 I（脱炭素化）

「としま低炭素モデル地区基準」の設定による低炭素まちづくりの推進

(1) 概要

新たに低炭素モデル地区基準を設定し、区内事業者に対して推進していく。この取り組みにより、地域全体のエネルギー利用の最適化を目指し、低炭素まちづくりを推進していく。

◆としま低炭素モデル地区基準

下記、I を満たし、II を 2 つ以上満たすもの

基準	要件
I 環境性能	非住宅:東京都建築物環境計画書制度 段階3 ※ 住宅:住宅性能表示制度 断熱等性能等級 等級 4 ※
II エネルギーの面的利用	・地域冷暖房 ・コージェネレーションシステム ・再生可能エネルギー

※「東京都建築物環境計画書制度」:段階 3 は、環境への配慮のための措置として環境への負荷の低減に著しく高い効果を有するもの。

「断熱性能等級」:等級 4 は、熱量損失等の大きな削減のための対策が講じられているもの。

(2) 取組状況

2023 年 9 月に、サンシャインシティの東側に隣接して開校予定である東京国際大学池袋国際キャンパスの地域冷暖房熱供給加入に伴い、地域冷暖房の供給導管の新設にかかわる都市計画変更を、令和元年度に行った。

(3) 関連する指標

取組指標	現状値 (H29 年度)	目標値 (R12 年度)	目安値 (R1 年度)	実績 (R1 年度)	目安値の 進捗状況
としま低炭素モデル地区 基準を満たす地区 (累計)	1	4	1	1	○

2. 基本目標II（自然共生）

みどりやビオトープの維持管理

（1）概要

区有施設に整備したビオトープや「グリーンとしま」再生プロジェクトにより創出したみどりについて、専門家の調査をふまえて今後の維持管理の改善に努めていく。また、区民や地域団体との協働による維持管理体制の構築を検討していく。これらの取り組みにより、質の高いみどり空間を維持し、人と自然の共生を進めていく。

（2）取組状況

①維持管理の改善について

令和元年度は池袋本町小学校、南長崎はらっぱ公園のビオトープについて専門家の調査を行い、今後の維持管理に関するマニュアルを作成した。令和2年度は、新たに南池袋小学校、仰高小学校、西巣鴨小学校のビオトープについて調査を行った。

「グリーンとしま」再生プロジェクトにより創出したみどりについては、平成29年度に専門家による調査、令和元年度には職員による実態調査を行った。植樹場所の環境や周囲の状況によって、生育状況や管理方法に違いがあり、今後の管理の難しさが課題となっている。令和2年度の「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会においても検討課題としており、引き続き、将来の維持管理について検討を行っていく。

②連携による緑などの保全について

令和元年度は地域住民等と、電車の見える公園、南長崎はらっぱ公園の「いのちの森」育樹活動を実施した。令和2年度における育樹活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。さらに、南長崎はらっぱ公園では、地域住民等と連携し、ビオトープの維持管理も継続して行っている。今後も区民や地域との連携による維持管理を推進するとともに、協働による維持管理体制の構築を検討していく。

（3）関連する指標

取組指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R12年度)	目安値 (R1年度)	実績 (R1年度)	目安値の 進捗状況
学校・区立公園の ビオトープ数（累計）	19か所	21か所	19か所	19か所	○
地域が管理する公園・ ビオトープの数	3か所	3か所	3か所	3か所	○

3. 基本目標Ⅲ（資源循環）

食品ロス削減対策事業

（１）概要

食品ロス削減に向けた普及啓発に加え、民間事業者との連携により地域全体での食品ロス削減対策を促進していく。

（２）取組状況

①民間事業者との連携について

令和元年度は女子栄養大学の学長を講師に招き、区民の集い「食品ロス削減対策講座」を開催した。また、食べきり協力店として、女子栄養大学松柏軒をはじめとした区内 23 店舗（令和 3 年 5 月現在）の飲食店を登録している。更に、新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校の休校に伴い給食も休止となる中、食のサポートを行うため、TOSHIMA TABLE（NPO 法人ワークスコープ、目白聖公会、NPO 法人豊島 WAKUWAKU ネットワーク）が主催で、区内在住で就学援助を受けている家庭（延べ 48 名）を対象に、米やレトルト等の食品（228 個、37 kg）を無料で提供した。

また、令和 2 年度には、29 年度に作成した啓発冊子「フードロスをなくそう!!」の内容を見直し、「食品ロスをなくそう!」とタイトルも改め、内容も大幅に改定した。

②区内循環型フードドライブについて

令和元年度に、フードドライブの常設窓口を 4 か所に増設し、2,903 個、467.95kg の食品を集め、豊島区民社会福祉協議会を通じて、必要とされる方にお届けした。

なお、令和 2 年度は、食品ロス削減月間の 10 月に区政連絡会、広報紙、ホームページにてフードドライブをはじめとした食品ロス削減を区民に広く周知したこともあり、食品寄付数は 2,910 個、603.69 kg となった。

（３）関連する指標

取組指標	現状値 (H29 年度)	目標値 (R12 年度)	目安値 (R1 年度)	実績 (R1 年度)	目安値の 進捗状況
食品ロスに関する啓発講座 の実施回数	2 回/年	4 回/年	2 回/年	1 回/年	△

4. 基本目標Ⅳ（快適環境）

路上喫煙・ポイ捨て防止対策の充実

（１）概要

多言語音声翻訳機を活用した、路上喫煙・ポイ捨て防止対策を行っていく。また、路上啓発表示や看板についても多言語対応していく。

（２）取組状況

路上シール及びポスターにおいて、日本語・英語・中国語・ハングルの4か国語にて表記することにより「路上喫煙・ポイ捨て禁止」の周知・啓発を行うとともに、50ヶ国以上対応の多言語音声翻訳機を活用してのパトロールを実施している。

（３）関連する指標

取組指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R12年度)	目安値 (R1年度)	実績 (R1年度)	目安値の 進捗状況
路上喫煙・ポイ捨て防止 キャンペーンの開催回数	12回/年	18回/年	13回/年	18回/年	◎
路上喫煙・ポイ捨て防止 パトロールの時間数	8,432時間 /年	10,000時間 /年	8,673時間 /年	11,758時間 /年	◎
路上喫煙・ポイ捨て禁止 啓発路上シールの貼付数	115枚/年	200枚/年	128枚/年	161枚/年	◎

5. 連携・協働

(仮称) クリーンサポーター・リーダー制度

(1) 概要

現在、区内の企業・団体が「としまクリーンサポーター」として登録し、自主的な環境美化活動を実践している。そのクリーンサポーター制度を発展させた「(仮称)クリーンサポーター・リーダー制度」を新たに創設し、リーダー育成の機会を提供していく。この制度の創設と運用により、区内の異なる主体間の連携による環境活動を活性化し、環境づくりのための行動の輪を広げていく。

(2) 取組状況

令和元年度は、「としまクリーンサポーター」の新規登録が4件あった。社会貢献活動を始めたいと検討する企業・団体の方が登録し、区内の清掃を積極的に取り組んでいただいている。

「(仮称)クリーンサポーター・リーダー制度」創設のために、まず、クリーンサポーターとして登録している各団体に対し、現在の活動状況等に関するアンケートを実施した。今後、当該アンケートにより得られた回答を精査・分析し、具体的なリーダー制度の構想を検討していく。

(3) 関連する指標

取組指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R12年度)	目安値 (R1年度)	実績 (R1年度)	目安値の 進捗状況
企業等の自主的な環境活動 (としまクリーンサポーター 登録団体数)	133 団体	150 団体	136 団体	143 団体	○

◆クリーンサポーター登録団体へのアンケート結果の概要（回答数：44件）

1. 清掃活動の実施頻度について

定期的実施している	33件（平均6.67回/月）
不定期実施している	9件
実施していない	2件

2. 清掃活動の実施規模について

① 1回あたりの活動人数：2～50人（平均11人）

0～5人	6～10人	11～20人	21～50人	無回答
16件	13件	5件	7件	1件

② 1回あたりの活動時間：5～120分（平均34分）

5～20分	21～35分	36～50分	51～120分	無回答
11件	19件	5件	6件	1件

③ 活動の実施場所

- ・池袋駅周辺
- ・東池袋中央公園周辺
- ・サンシャインシティ周辺 等

3. 清掃活動中に気付いた点等：回答数 24 件（無回答：20 件）

- ・たばこの吸い殻のポイ捨てが多い
- ・放置自転車が散見される 等

4. クリーンサポーター制度に対するご意見等：回答数 15 件（無回答：29 件）

- ・クリーンサポーター活動をアピールできるグッズがあるとよい
- ・他のクリーンサポーターとの連携の仕組み、きっかけなどがあればありがたい 等